

リサイクル燃料貯蔵株式会社	
提出日	2022年4月8日
管理表No.	0325-10 改訂00

項目	コメント内容
地震 (第7条)	(0325-10) <ul style="list-style-type: none"> 機器・配管系、Sクラスの地震動の組み合わせについて、申請書の耐震設計の基本設計方針（別添 I P. 10 1. 5. 2(4)c. (b)イ(イ) (PDF17) 等）では、「弾性設計用地震動S_aによる地震力又は静的地震力のいずれか大きい方の地震力と常時作用している荷重、貯蔵時の状態で作用する荷重、金属キャスク取り扱いの状態で作作用する荷重とを組み合わせる」とあるが、金属キャスクの耐震評価における地震時の荷重の組合せ（添付書類 5-3-1P42, 43 (PDF1486, 1487)）に「吊り上げ荷重」等の取り扱い状態での荷重が含まれていない。基本設計方針の記載内容が正しいのか確認すること。

(回 答)

添付書類 5-3-1 における金属キャスクの地震時の荷重の組み合わせは、基本設計方針に基づき弾性設計用地震動 S_a による地震力又は静的地震力のいずれか大きい方の地震力、常時作用している荷重、貯蔵時の状態で作用する荷重、金属キャスク取り扱いの状態で作作用する荷重の組み合わせを整理している。その結果、金属キャスク構造規格（解説表 MCD-1100-1-1 及び解説表 MGA-1200-1）に基づき、「添付書類 5-3-1 5. 2. 1 荷重の種類と組合せ」のとおり考慮不要と整理したものであり、基本設計方針の記載内容は正しいと考えている。（添付書類 5-3-1 第 5-1 表, 第 5-2 表, 第 5-3 表 (PDF1486, PDF1487) 参照）

なお、取り扱い時に地震動が作用する可能性は小さいものの、仮に作用したとしてもトランシオンの輸送時評価 3G に包絡されるものであり、金属キャスクの基本的安全機能を損なうおそれはない。（設 2-補-006 改 1 使用済燃料貯蔵設備本体の強度及び耐食性について 2. 3. 10 吊上げ時の鉛直方向加速度及び許容応力について 参照）

以 上